



PLAN
INTERNATIONAL

Feb 2024

May 2023

Feb 2023

生活を築く： シリア地震から1年

2023年2月

緊急対応とその先へ

シリアでは12年にわたる敵対行為と経済的困窮が続いている中、2023年2月6日と20日にシリア北部とトルコを相次いで地震が襲い、住民の窮状はさらに悪化した。2回の地震は数十万世帯が避難生活を余儀なくさせ、シリアでは約5,900人の命を奪い、1万2,800人超が負傷した。地震がシリアに与えた影響は、先行する紛争によって既に弱体化していたインフラに損害を与え、一層深刻な状況を引き起こしている。



地震の影響はコミュニティに波及し、多くの家庭が死傷により主たる稼ぎ手を失った。これは、既に不安定な経済状況を背景、2023年末までに生活に困窮している1,670万人の状況を悪化させた。脆弱な人口の45%(748万人)を占める子どもは、こうした増え続ける困難に直面している。必要不可欠なサービス能力は低下し続け、水や衛生システム、公共サービスは極度に窮迫した。その結果、問題が連鎖的に発生し、人道的ニーズが高まった。

この悲劇を受けて、プラン・インターナショナルは、被災した子どもとその家族に救命援助と早期復興支援を提供する緊急支援活動を開始した。

数字で見るシリア地震緊急対応

115万2,154人

を支援



57万7,033人

女性と女の子



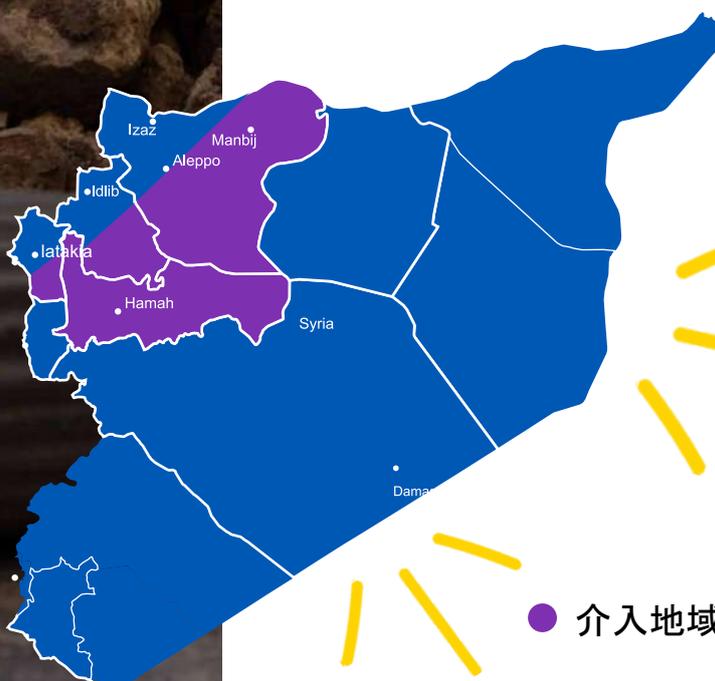
50万6,538人

子ども



2万2,853人

障がい者



能力開発

パートナー職員の 能力開発

- 1- 保護と性的搾取・虐待・ハラスメントの防止 (PSHEA)
- 2- 安全な身元確認と紹介
- 3- 保護の主流化
- 4- 不正防止
- 5- ジェンダーと包摂
- 6- コミュニケーションと語りの基本
- 7- フィードバックと苦情の体制

研修を受けたパートナー職員: 72名

シリア国内のサービス 提供者の能力開発

- 心理社会的アプローチ研修:
 - 研修を受けた最前線職員: 15名
 - 指導者養成:
 - 緊急時・能動的学習教育研修を受けた教員: 43名
 - 保護研修:
 - 事例処理の研修を受けたケースワーカー: 5名
 - 教師と保護者: 47名
 - ソーシャルワーカー: 81名

食料安全保障

プラン・インターナショナルは、2023年2月に発生した地震の直後、慎重に計画された食料キットを国内避難民に配布することで、人命救助となる緊急人道援助を提供した。私たちの使命は、深刻な被害を受けた人びとに活力と尊厳を回復させ、この壊滅的な自然災害による困難に立ち向かうレジリエンスを培うことだった。

1万5,609人
(総リーチ数)

8,115人
女性と女の子

3,648人
子ども

246人
障がい者



「お腹をいっぱいにして学校に行き、勉強に集中するために、何か食べたいだけです。私は学校が大好きで、特に科学が好きです。私の夢は医者になることです。」

Sama - 15歳の女の子 - アレppo



水と衛生 (WASH)

プラン・インターナショナルの取り組みは、水と衛生 (WASH) に重点を置き、避難所への給水設備の設置や、コミュニティのための水道網の復旧にまで及んだ。清潔な水と衛生施設へのアクセスを確保することで、長期的に被災者の全体的な幸福に貢献することを目指した。

111万5,803人

(総リーチ数)



55万7,902人

女性と女の子



49万991人

子ども



2万2,314人

障がい者

個人と家庭の衛生

衛生用品、清掃用品、尊厳キットなどの非食料品は、震災後の重要なニーズに応じて配布された。私たちの取り組みは食料支援にとどまらず、被災したコミュニティに配慮と思いやりをもって包括的な支援を提供し、即時的・長期的な必需品の両方に対応することを目指している。

2万3,979人

(総リーチ数)



1万2,378人

女性と女の子



7,423人

子ども



246人

障がい者

緊急時の教育

「最初は大変で、読み書きが難しかったです。内気で、失敗するのが怖かったです。でも、1ヵ月もすると、状況は変わりました。アラビア語で文を完全に書けるようになり、もう怖くなくなりました。」

Hasan - 11歳の男の子 - ハマ



復興前と復興後

対応の第2段階では、緊急時の教育が重要な優先課題であった。私たちは、5校の学校を修復し、必要な家具、設備、教材を備えることで、教育の重要なニーズに応えた。更に、4つのPTA主導の取り組みと教師のための能力開発研修を実施した。350の娯楽・教育キットの配布や補習授業の実施、IDPの子どもへの包括的支援など、的を絞った非正規教育活動も実施した。5つの学校を修復した。

5,077人

(総リーチ数)



2,564人

女性と女の子



2,781人

子ども



3人

障がい者



保護

「資金援助は生命線であり、尊厳でもあり、地震によって受けた損傷と家の修復を可能にしました。家全体を修理することはできませんでしたが、提供された資金によって2つの部屋を修復することができ、私たちに新しい家の感覚を与えてくれました。」
Hamsa - 53歳 女性 - アレッポ

プラン・インターナショナルは、家族への現金支援を含む保護活動を実施し、災害直後の重要かつ尊厳ある支援を提供した。

現金による保護とバウチャー支援

2,427人
(総リーチ数)

2,427人
 女性と女の子

1,158人
 子ども

217人
 障がい者

子どもの保護

対応全体を通じて、子どもの保護は優先事項であり続け、心理社会的支援や、子どもの安全と幸福に対する意識の向上、5つの子どもに配慮したスペースの復旧、サービス提供者の能力開発などの取り組みを通じて、地震後の課題に対処した。

子どもの保護の総計

4,868人
(総リーチ数)

2,838人
 女性と女の子

4,235人
 子ども

71人
 障がい者



Until we are all equal

日頃のご支援に感謝します

資金提供



提携

